



2017年12月期第1四半期

# 決算説明会

STOCK CODE:7177

代表執行役社長 グループCEO 鬼頭 弘 泰  
常務執行役 グループCFO 山 本 樹

2017年7月26日

■ 決算概要

中長期目標と事業概況

Appendix

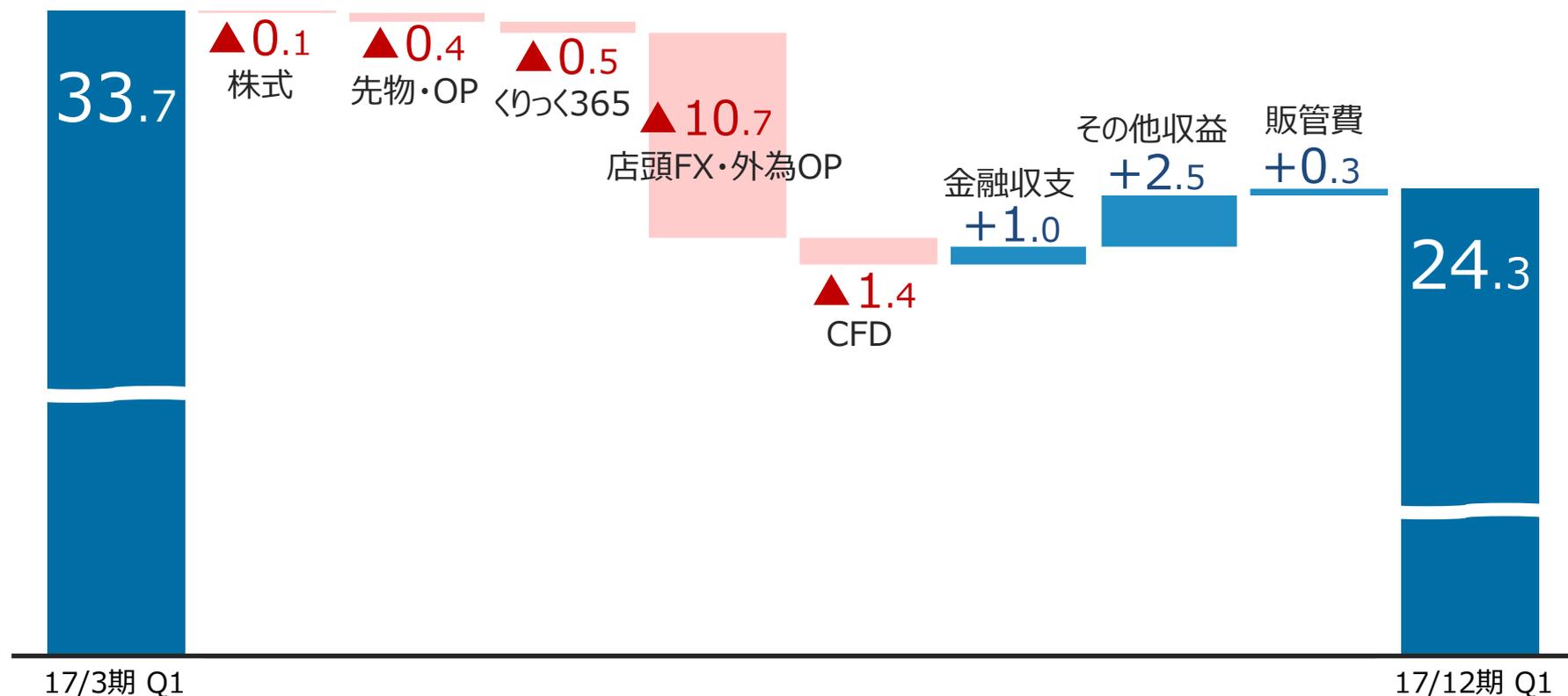
Brexitが追い風となった前年同期比で減収減益も、堅調なスタート

(億円)	2017年3月期	2017年12月期	前年同期比	
	Q1(4-6月)	Q1(4-6月)	増減額	増減率
営業収益	78.0	<b>68.7</b>	-9.3	-12.0%
営業利益	33.7	<b>24.3</b>	-9.3	-27.8%
経常利益	33.2	<b>24.0</b>	-9.2	-27.7%
最終利益	22.7	<b>16.4</b>	-6.3	-27.8%

# 営業利益増減要因

店頭FX収益の減少が主因で減収減益

(億円)



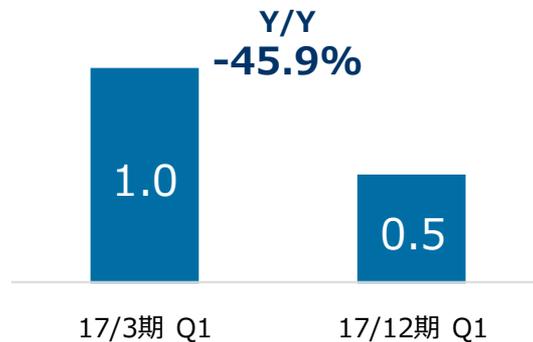
# 営業収益内訳（商品別）

(億円)

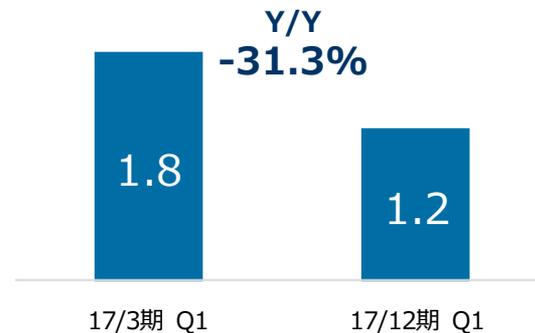
## 株式（現物・信用）



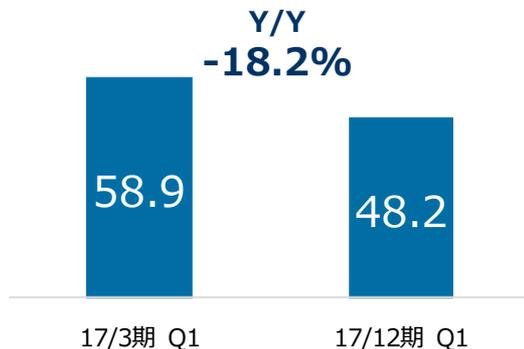
## 先物・オプション



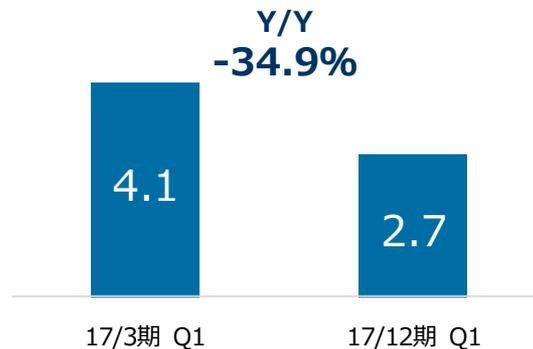
## くりっく365（取引所FX）



## 店頭FX・外為OP



## CFD



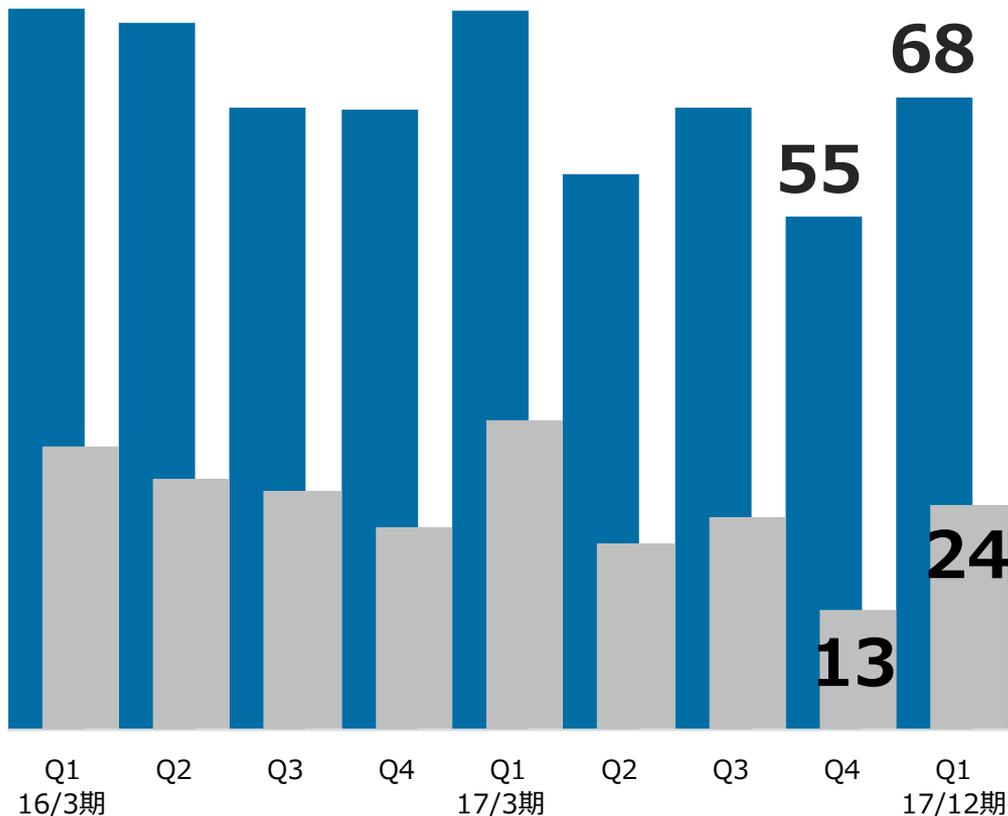
## 金融収益



# 四半期業績推移 | 営業収益・営業利益

(億円)

■ 営業収益 ■ 営業利益

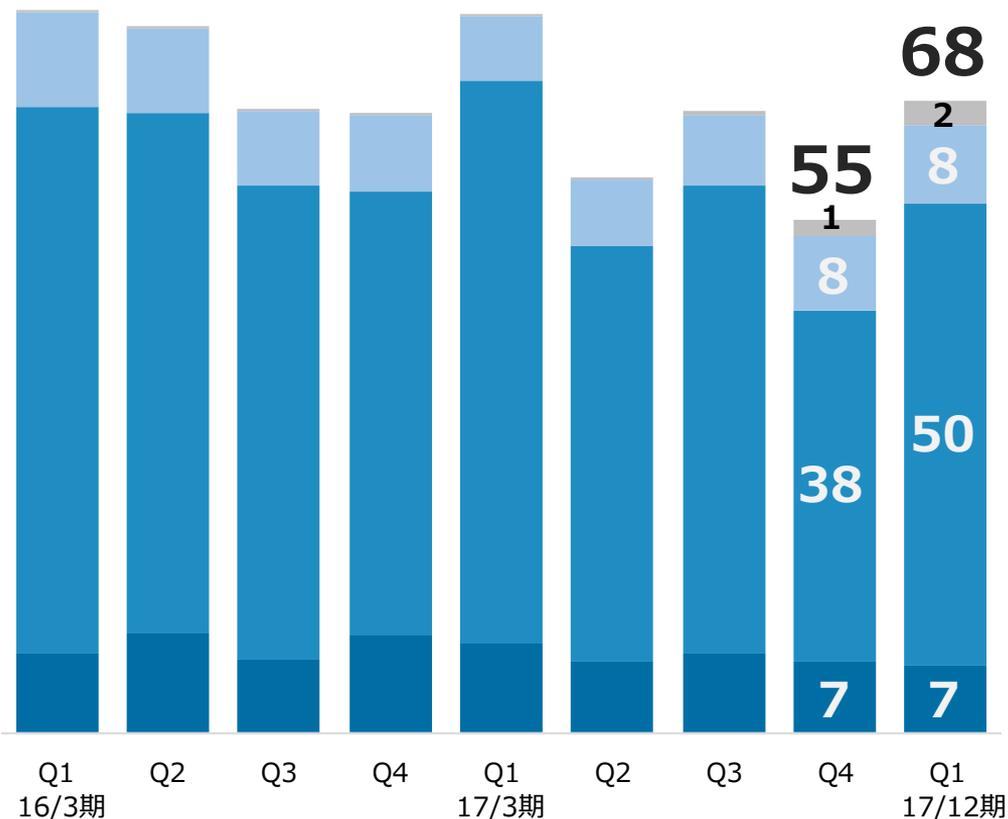


Q/Q  
増収増益

# 四半期業績推移 | 営業収益の内訳

(億円)

■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他営業収益

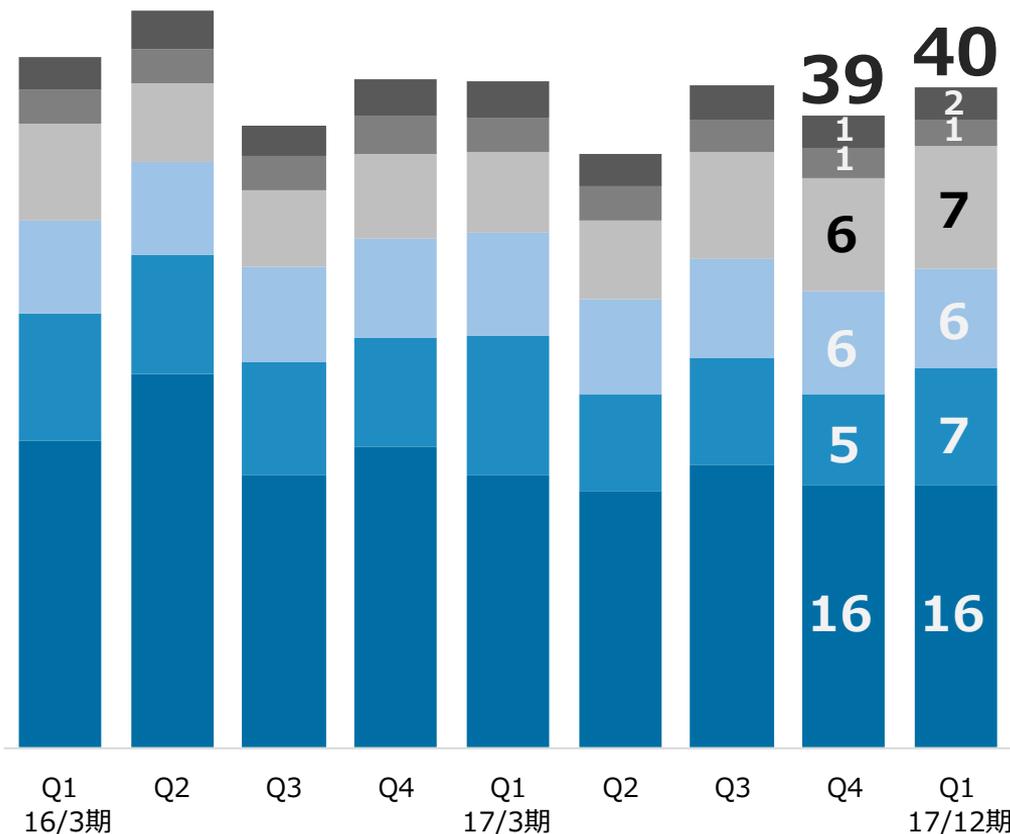


Q/Q  
**TR損益増収**  
店頭FX収益性改善

# 販管費の四半期推移

(億円)

取引関係費 人件費 不動産関係費 事務費 減価償却費 その他



Q/Q  
**4.6%増**

今後の費用見通し：40億円前後

## 目標

連結配当性向

**50%** (年4回配当)

1株当たり 配当金	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2017年 12月期	<b>6.90</b> 円	-	-	-	-
2017年 3月期	<b>9.70</b> 円	<b>6.15</b> 円	<b>6.68</b> 円	<b>3.64</b> 円	<b>26.17</b> 円

決算概要

■ 中長期目標と事業概況

Appendix

## 方針

強いものをより強くする

国内  
事業

- 国内店頭FX取引高シェア & 収益拡大
- CFDを新たな収益の柱に
- 株式売買代金第3位の達成

海外  
事業

- 黒字定着し攻めの体制

新規  
事業

- 新たな金融商品・事業の展開

## FX

取引高  
(2017年4-6月)

**257**兆円

前年同期327兆円

取引高シェア  
(2017年4-6月)

**24.8**%

前年同期26.8%

預り証拠金残高  
(2017年6月末)

**1,434**億円

前年同月末1,260億円

## 株

売買代金  
(2017年4-6月)

**5.2**兆円

前年同期5.7兆円

売買代金シェア  
(2017年4-6月)

**7.5**%

前年同期8.4%

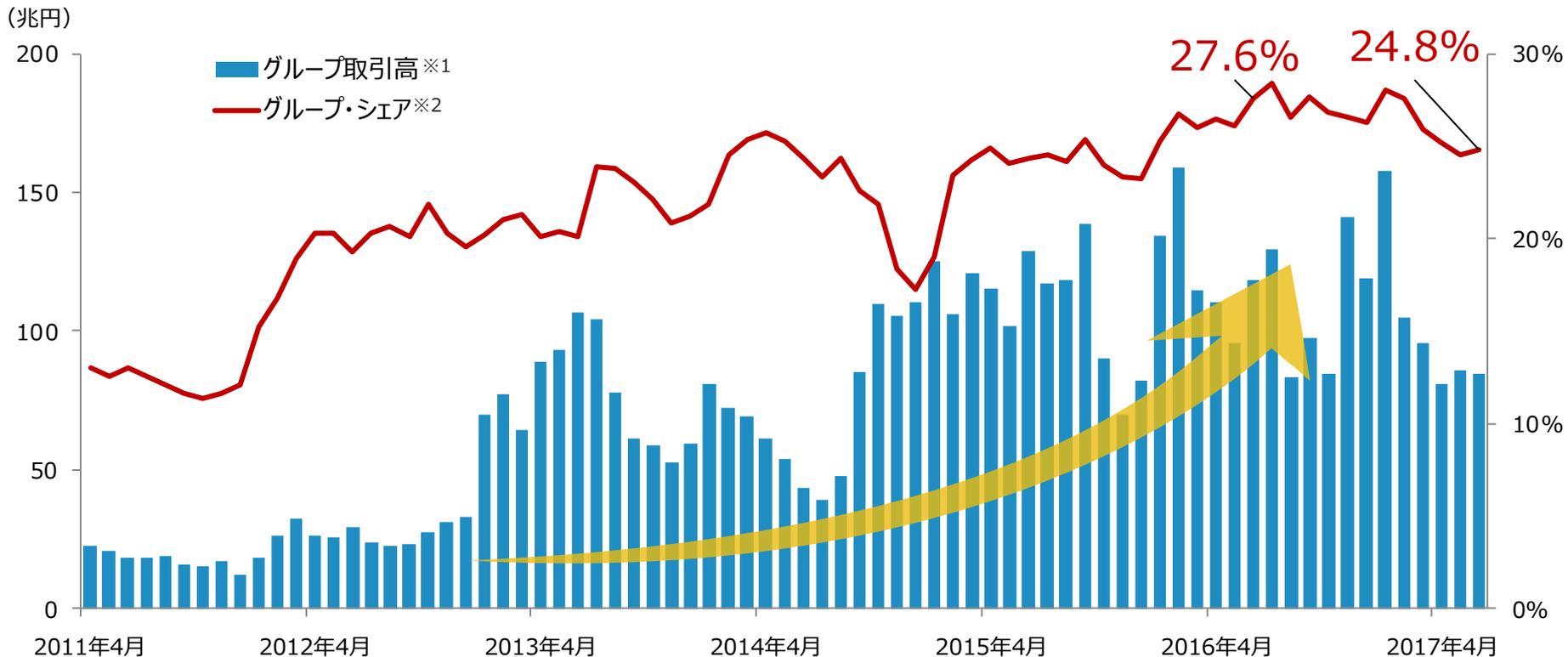
信用取引残高  
(2017年6月末)

**1,146**億円

前年同月末800億円

FX取引高シェア、株式売買代金シェアは金融先物取引業協会、日本取引所グループ公表資料より当社作成  
※FX(店頭FX)のデータは、GMOクリック証券及びFXプライムbyGMOの合計値  
※株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

## シェアは25%程度で推移

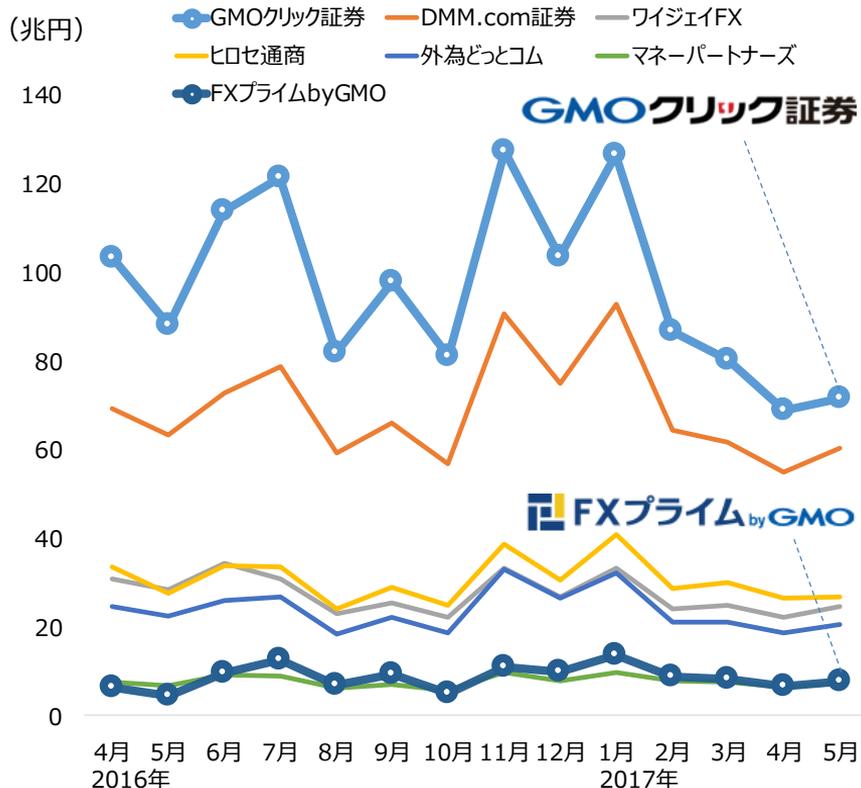


当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

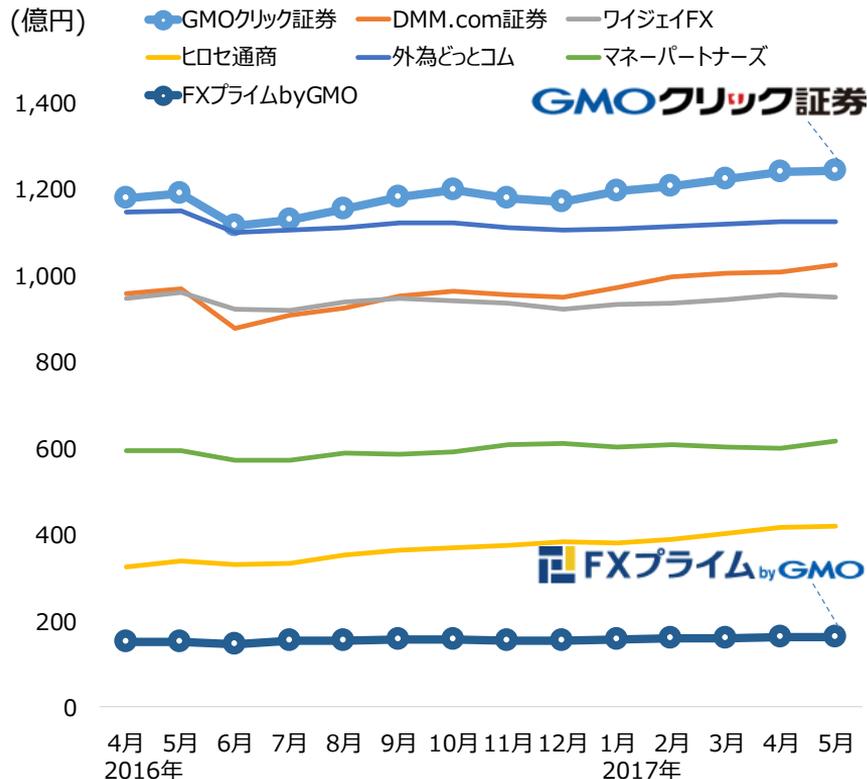
※1 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合計値

※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

## 店頭FX取引高

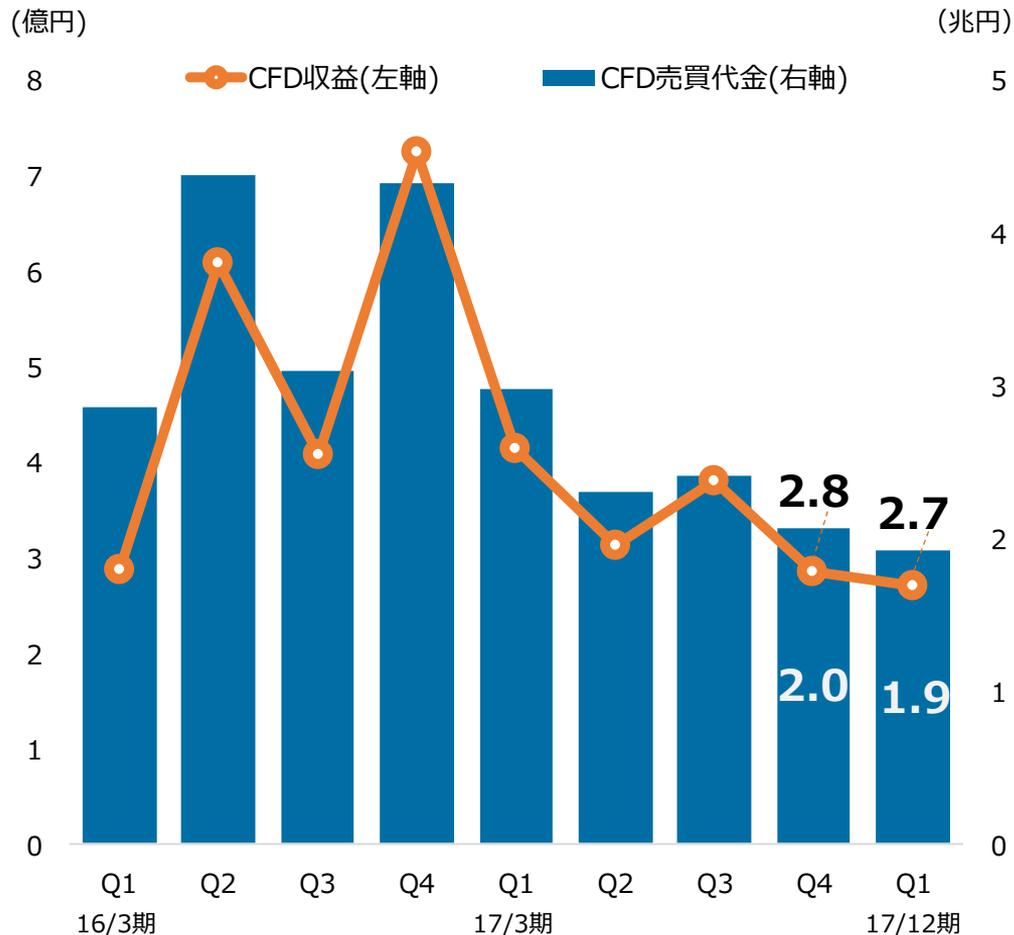


## 店頭FX預り証拠金残高



矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング(2016年4月～2017年5月)より当社作成  
 ※取引高は百万通貨は1億円として換算

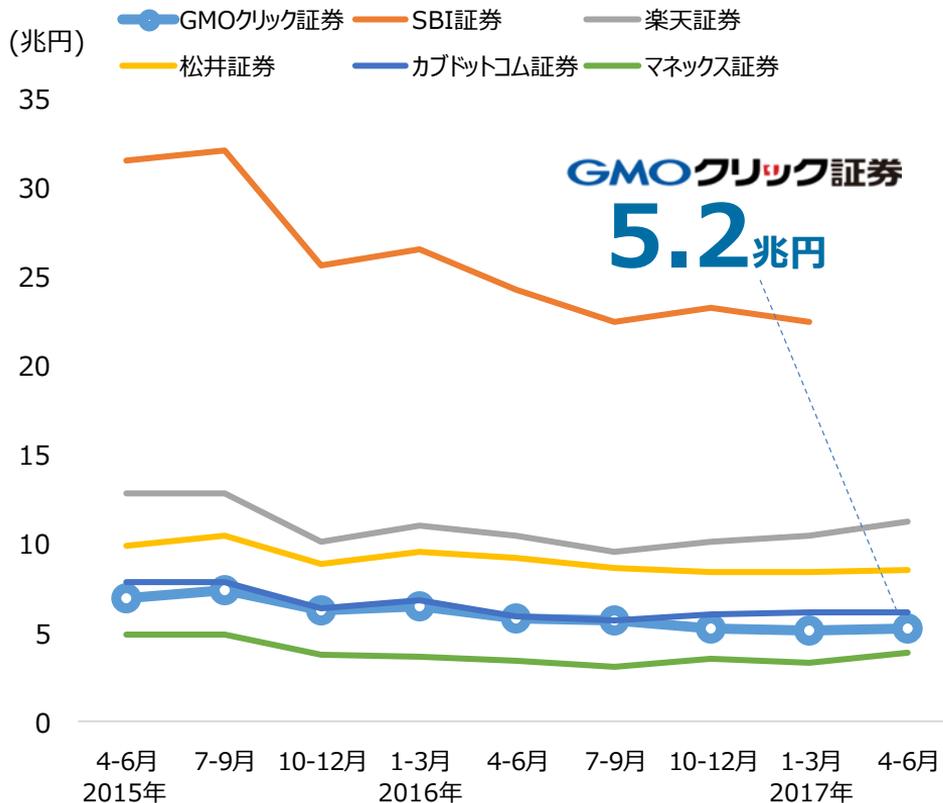
# CFD | 売買代金・収益の推移



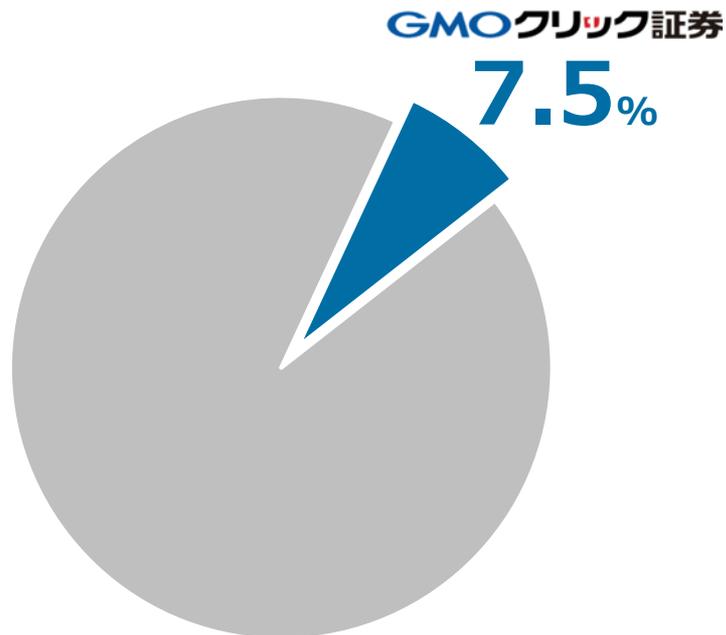
Q/Q  
**5.1%減収**  
売買代金が減少

※売買代金はGMOクリック証券の数値を参考として記載

## 主要ネット証券株式等売買代金推移

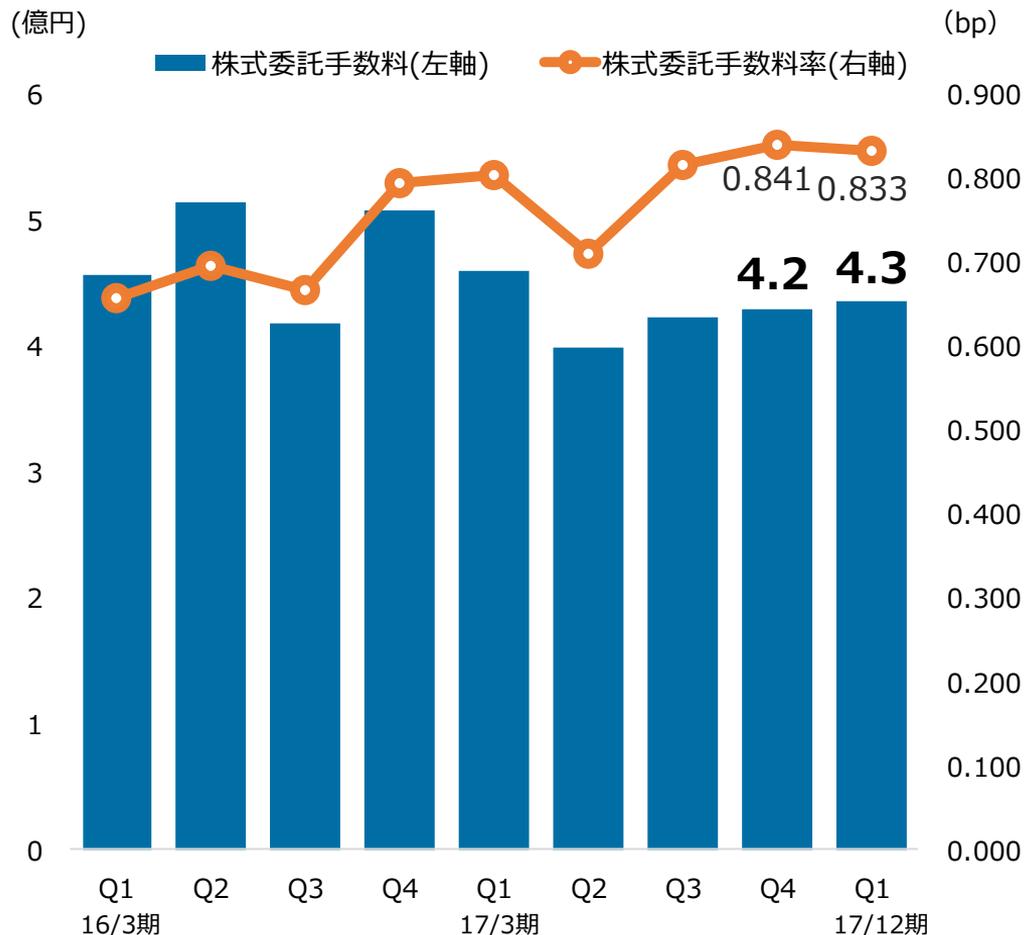


## 2市場占める 個人株式等委託売買代金シェア (2017年4-6月)



日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成  
 ※株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

# 株式 | 株式委託手数料・委託手数料率の推移



Q/Q  
**1.5%増収**

タイ王国でのネット証券事業開始に向けた準備は順調。今秋の開業を予定



当社が35%出資するGMO-Z.comコインが5/31より本格サービスイン  
仮想通貨レバレッジ取引、仮想通貨売買を行えるサービス「Z.comコイン byGMO」を提供



## Z.com コイン byGMO

レバレッジ原則5倍  
スマホアプリ対応  
24時間365日取引可



新社名(2017年10月1日付)

## GMOフィナンシャルホールディングス株式会社



金融システム開発における開発力、ノウハウを  
新しい金融事業領域で活用し、成長を加速



決算概要

中長期目標と事業概況

■ Appendix

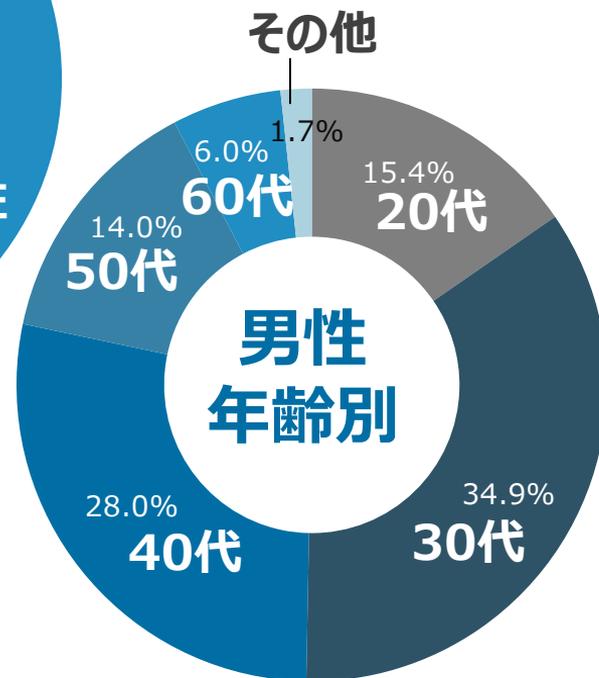
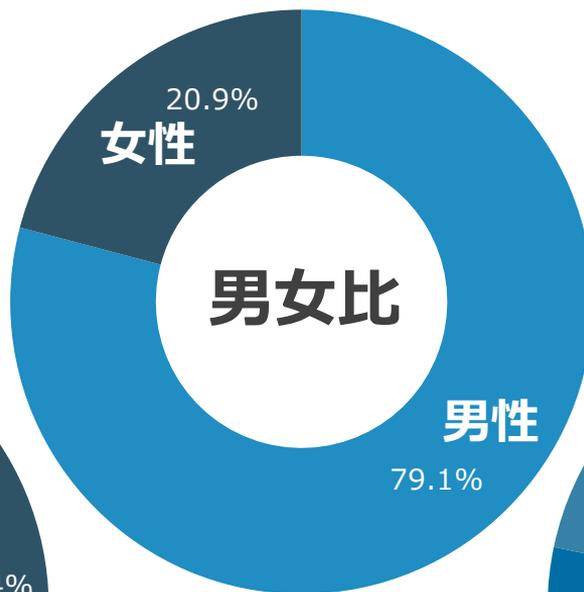
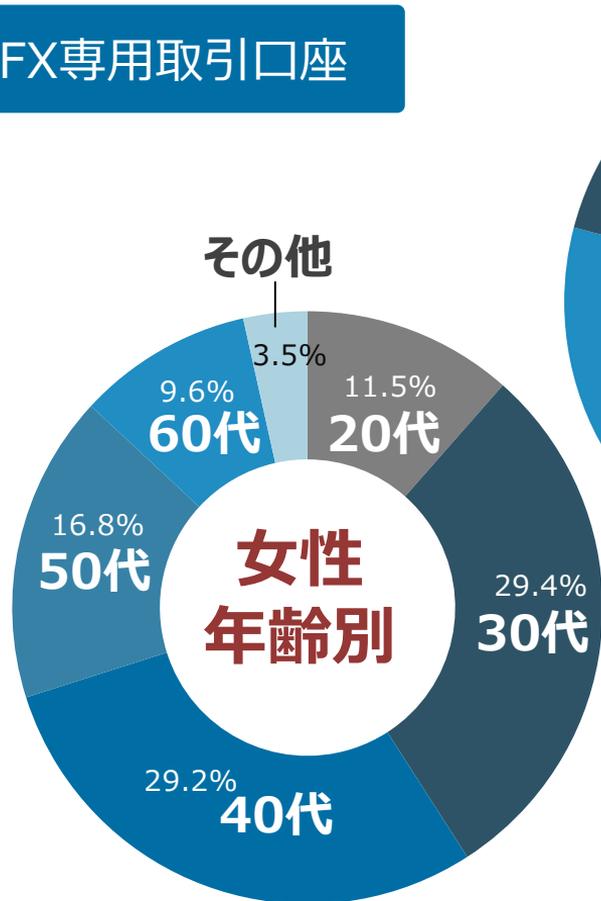
# 営業収益（商品別）の四半期推移

(単位：百万円)	17/3期				通期	17/12期
	Q1	Q2	Q3	Q4		Q1
株式・ETF等（現物・信用）	496	445	465	480	1,887	484
（株式・ETF等委託手数料）	459	399	422	429	1,710	435
先物・オプション	101	63	61	55	281	54
くりっく365	183	159	198	155	696	126
通貨関連店頭デリバティブ	5,893	4,310	4,824	3,615	18,643	4,823
CFD	415	313	380	284	1,393	270
金融収益	706	724	765	814	3,011	841
その他	11	19	75	173	281	270
営業収益	7,808	6,036	6,771	5,580	26,196	6,871

# 販管費の四半期推移

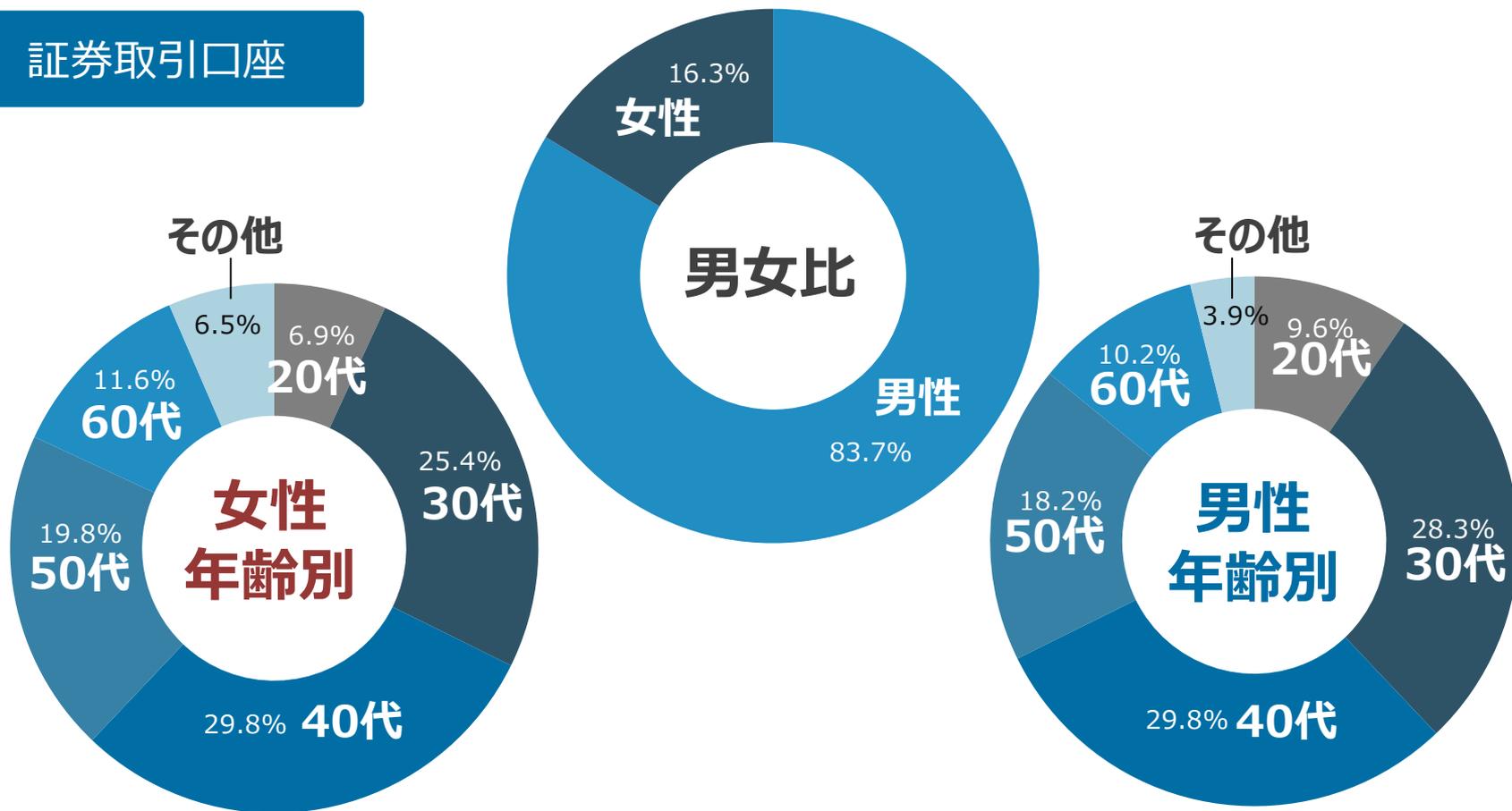
(単位：百万円)	17/3期				通期	17/12期
	Q1	Q2	Q3	Q4		Q1
取引関係費	1,688	1,586	1,753	1,631	6,659	1,620
（内、広告宣伝費）	784	792	917	819	3,312	737
人件費	859	600	660	561	2,681	731
不動産関係費	642	584	606	632	2,466	615
事務費	502	486	663	698	2,350	753
減価償却費	204	217	207	192	822	164
租税公課	169	162	174	167	673	167
貸倒引当金繰入額	▲10	▲0	▲8	▲1	▲21	▲1
その他	70	39	42	29	181	38
販売費及び一般管理費	4,127	3,676	4,098	3,912	15,814	4,091

## FX専用取引口座



※2017年6月末日現在

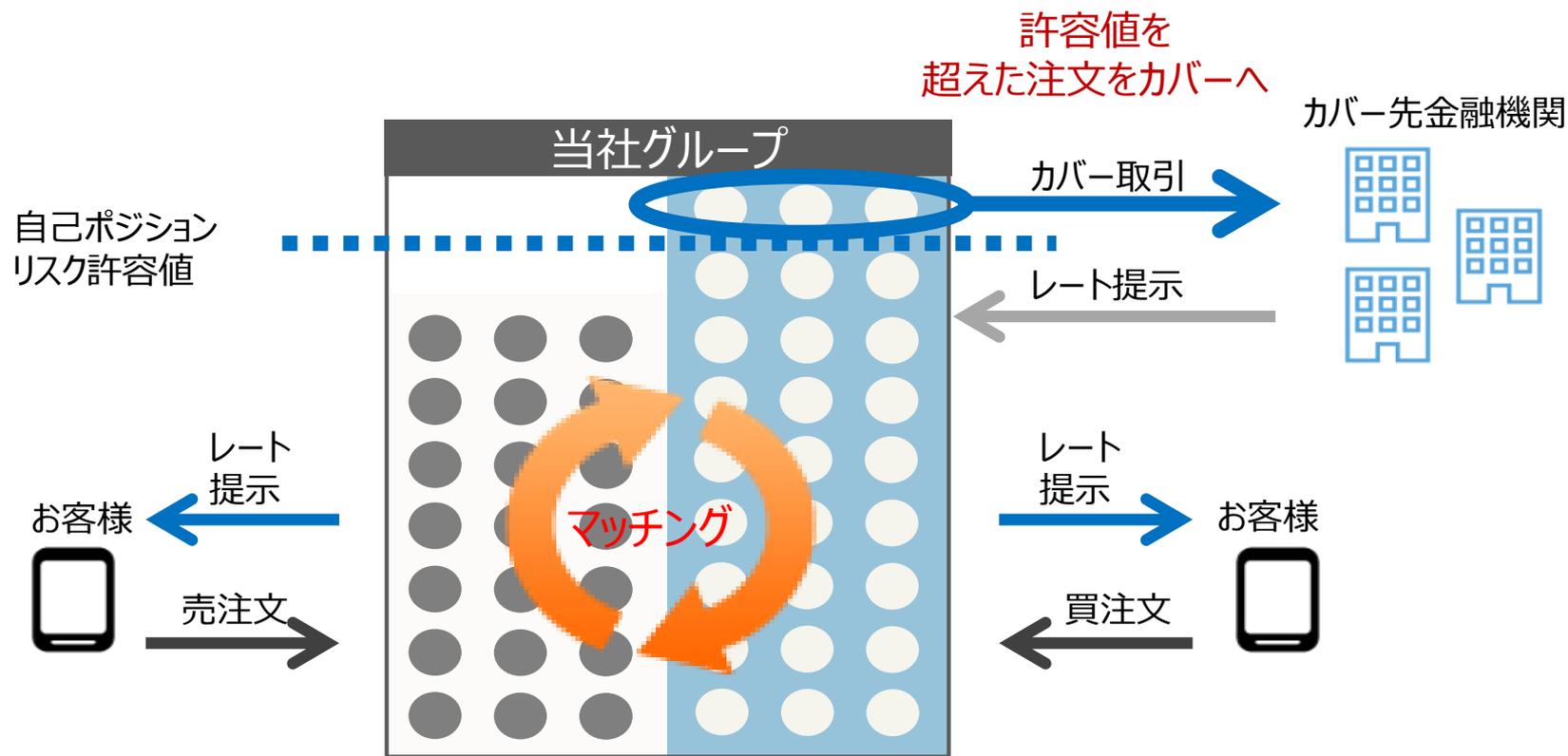
## 証券取引口座



※2017年6月末日現在

# ビジネスモデル（店頭デリバティブ取引）

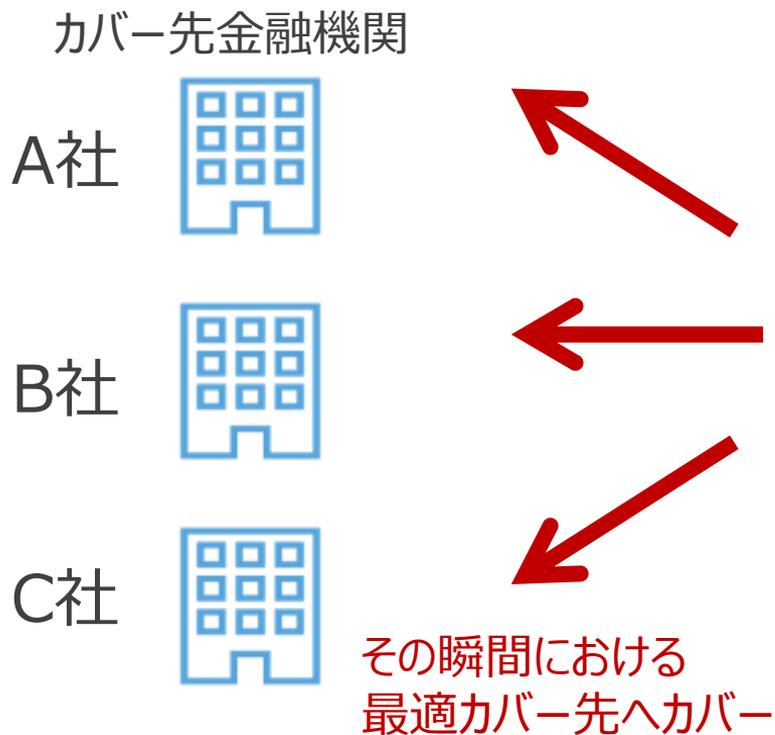
効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求



(上記は概念図)

# ビジネスモデル（店頭デリバティブ取引）

細かなチューニングによりカバー取引を最適化

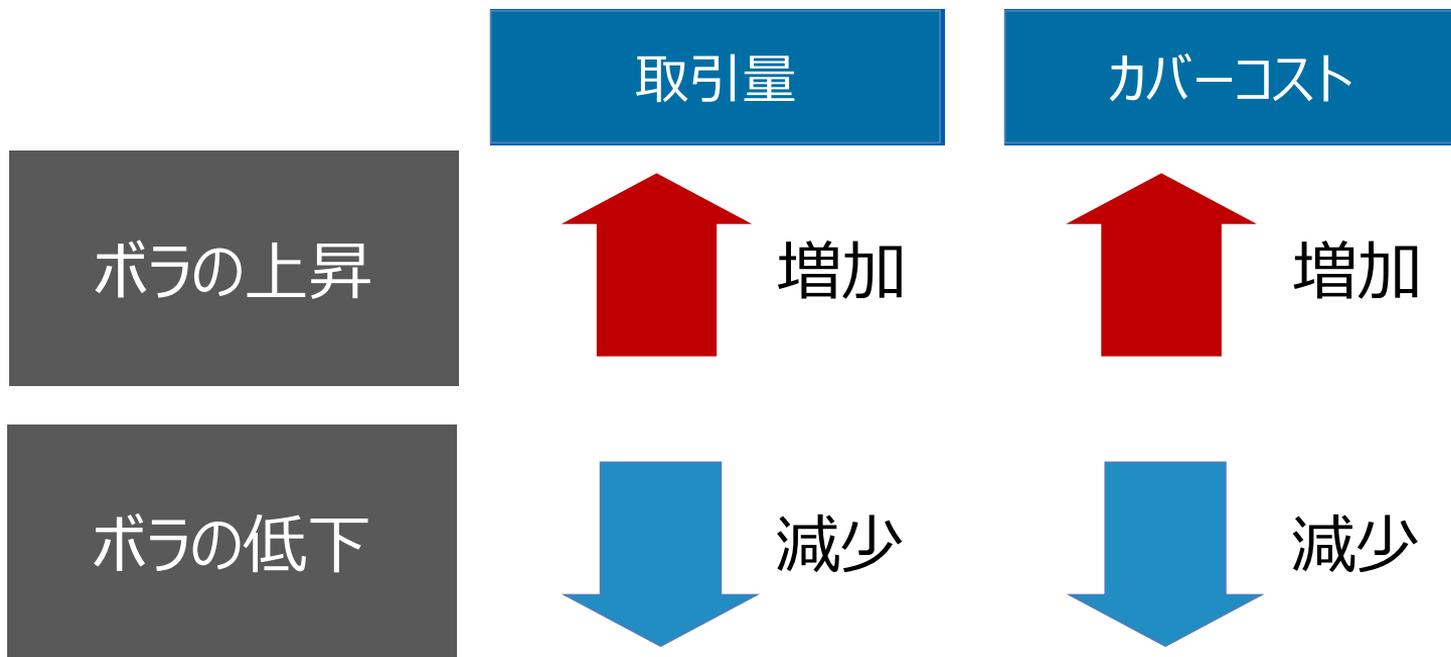


（上記は概念図）

# ボラティリティと収益の関係

収益  
構造

$$\text{対顧客取引} \quad \text{カバ-取引}$$
$$\left( \text{対顧客スプレッド} \times \text{取引数量} \right) - \left( \text{カバ-スプレッド} \times \text{カバ-数量} \right)$$



(上記は概念図)

## 免責事項

本資料には、2017年7月26日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。